

早稲田社会学会ニュース

第59号

2022年 4月28日発行

早稲田社会学会事務
〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1
早稲田大学文学部 社会学研究室内
Tel: 03-5286-3742
E-mail: socio-office@list.waseda.jp
URL : <http://www.waseda.jp/assoc-wss/>

今回のニュースの内容

1. 第74回早稲田社会学会大会および総会開催のお知らせ
2. 本年度大会シンポジウムについて
3. 大会一般報告の募集
4. 『社会学年誌』第64号投稿の募集
5. 2022年度研究助成の募集
6. 第43回早稲田社会学会研究例会のお知らせ
7. 入退会者のお知らせ
8. 学会費納入のお願い
9. 事務局よりお願い

1. 第74回早稲田社会学会大会および総会開催のお知らせ

本年度の早稲田社会学会大会および総会は、2022年7月2日（土）に、オンラインにて開催されます。シンポジウムのテーマは「「関係」の現在を考える——コロナ禍以降の研究・調査・実践」です。詳細につきましては、「本年度大会シンポジウムについて」をご参照ください。一般報告などを含むプログラムの詳細につきましては、学会ウェブサイト上にてお知らせする予定です。ご参加方法等、詳細につきましては、追ってご連絡いたします。

事務局では大会での一般報告を募集いたします。報告を希望される方は、「大会一般報告の募集」をご参照のうえ、事務局までお申込みください。

2. 本年度大会シンポジウムについて

日時： 2022年7月2日（土）13:30-17:00

会場： オンライン開催

参加費： 無料

参加申込：6月初旬より学会ウェブサイトにて受付開始予定

テーマ： 「関係」の現在を考える——コロナ禍以降の研究・調査・実践
(以下敬称略)

報告者

関水徹平（立正大学）

「オンラインでの調査・研究の経験から考える、学知の生成・伝達の変容——身体の現前に着目して」

武田俊輔（法政大学）

「コロナ禍状況における遠隔地のフィールドワーク——祭礼をめぐる関係性・身体性の変容と調査の現況」

樫村愛子（愛知大学）

「コロナが可視化した「身体」「場」の構造——コミュニケーション資本主義とニューロダイバーシティの観点から」

コメンテーター：嶋崎尚子（早稲田大学）・石田光規（早稲田大学）

司会者：本多真隆（明星大学）・高橋かおり（立教大学）

趣旨説明

2020年より拡大した新型コロナウイルスは世界規模でわれわれの生活を一変させ、多くの問いを突きつけている。「ソーシャル・ディスタンス」という言葉にも象徴されるように、われわれの「関係」のあり方も再考をせまられた。その影響は、社会におけるさまざまな場面のみならず、われわれの日々の営みである社会学にまつわる関係も無縁ではない。調査・研究・教育の場における移動や接触の制約が生じる一方、研究者に対して新たな社会課題への対応や新しい実践が求められるようになっていく。

コロナ禍においては、これまで以上にオンラインでの調査が実施されるようになり、対面状況とは異なる知のあり方や身体性が生まれつつある。遠隔地などのアクセスの難しかったフィールドへの接近が可能になった一方、対面ならでの「いま・ここ」をオンライン状況でいかに生成するのか、対面状況とどのように関連を持たせるのか課題であろう。あるいは、格差への対応や社会的支援の現場など学術以外の場での社会的知への需要が高まる中で、課題に対する短期的な解決方法の呈示にとどまらず、時代の変容や多様性への配慮をしたうえで長期的な展望を持った議論を続けていくことも必要であろう。

本シンポジウムでは、社会学の理論や調査の中に現代社会を位置づける機会として、議論や知見の過程や状況を積極的に開示する場としたい。3名の報告者はそれぞれの立場から「関係」を手がかりとしてコロナ禍以降の調査・研究の実際や、社会調査の諸問題（調査対象との関係、研究者の社会的役割等）や教育・実践における変化や知見の萌芽を共有していただく。そのうえで、コメンテーターのお2人とフロアの方々と共に、現代社会の急速な変化に対して議論をする場としたい。

（明星大学 本多真隆・立教大学 高橋かおり）

3. 大会一般報告の募集

大会午前中(10:00-12:00予定)の一般報告を希望される方は、以下の項目を明記の上、事務局宛にE-mailにてお申し込みください。件名を、「大会一般報告申し込み」として下さい。

必要事項

(1) 氏名

(2) 所属

(3) 連絡先(郵便番号、住所、電話番号、E-mailアドレス)

(4) 題目(副題を別として25字程度まで)

(5) 内容概略(200～400字程度)

送付先: socio-office@list.waseda.jp

締切: 2022年5月16日(月)12:00AM

※ 『社会学年誌』投稿とは締切が異なりますのでご注意ください。

現在早稲田社会学会会員でない方で、報告をご希望の方は、上記の必要事項とあわせて入会申込書をお送りください（なお、本年度についてはPDFなどの形でE-mailにてご提出下さい。当面、推薦人の署名捺印は不要とします）。入会申込の手続きまたは申込書の入手方法につきましては、学会ウェブサイトの「入会案内」をご覧ください。事務局までお問い合わせください。

4. 『社会学年誌』第64号投稿の募集

本年度の『社会学年誌』に投稿を申し込む方は、以下の項目を事務局宛にE-mailにてお送りください。件名を「『社会学年誌』投稿申込」としてください。

(1) 氏名

(2) 所属

(3) 郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス

(4) 題目（副題を別として25字程度まで）

(5) 内容概略（200～400字程度）

『社会学年誌』投稿申込締切は、6月30日（木）23:59です。『社会学年誌』原稿の提出締切は、8月末日です（なお本年度に関しても、昨年度と同様に紙媒体の原稿の郵送は不要です。上記事務局のE-mailに添付ファイルとしてお送り下さい）。申込書提出後の題目、内容の大幅な変更は認められませんのでご注意ください。また、申込後に投稿を辞退される場合は、8月15日までにその旨を必ずご連絡ください。なお、分量、書式その他、投稿規定については、『社会学年誌』の最新号をご参照ください。現在早稲田社会学会会員でない方で投稿をご希望の方は、上記の申込とあわせて入会申込書をお送りください（なお、本年度についてはPDFなどの形でE-mailにてご提出下さい。当面、推薦人の署名捺印は不要とします）。入会申込の手続きまたは申込書の入手方法につきましては、学会HPの「入会案内」をご覧ください。事務局までE-mailでお問い合わせください。

5. 2022年度研究助成の募集

これまで当学会に寄せられた寄付金により、寄付者のご意思を尊重し、研究活動の助成を行ってきました。この制度を継続し、今年度も次のように、会員各位の研究活動を助成いたします。

- ・助成対象:早稲田社会学会の発展に寄与する研究活動
- ・助成額: 1件15万円程度を上限とする

助成を希望される方は事務局までE-mailでご連絡ください。件名を、「研究助成申請希望」として下さい。追って「申請書用紙」をお送りいたします。申請書の提出締め切りは、5月16日(月)午前9時00分（事務局宛 E-mail のみ有効。郵送不可）です。

なお、募集は、「早稲田社会学会研究助成取り扱い要領」の規定により、「助成の直前の年度まで継続して2年以上の会員歴がある」方が対象となります。また、研究助成を受けられた方には、学会大会一般報告(または学会誌投稿)により、その成果を報告していただくようお願いいたします。また、この趣旨に賛同される方からのご寄付も募っております。寄付については事務局にお問い合わせ下さい。

6. 第43回早稲田社会学会研究例会のお知らせ

日時：2022年5月21日（土） 14:00－17:00

会場：オンライン開催

参加費：無料

申込: 2022年5月16日(月)12:00AMまでに、以下のgoogleフォームよりご登録ください。後日参加方法について連絡いたします。

<https://forms.gle/WJ1jN8EvqGShZEuB8>

テーマ：コロナ禍と研究、調査活動

（以下敬称略）

報告者：

笠原良太（早稲田大学）「コロナ禍における産炭地研究・フィールドワーク」

田中智子（佛教大学）「閉じ込められた『関係』について考える—障害者家族をフィールドに」

三品拓人（学振PD・関西大学）「コロナ禍における児童養護施設のエスノグラフィー—現場と調査への影響」

司会者 本多真隆（明星大学）・高橋かおり（立教大学）

7. 入退会者のお知らせ

理事会において以下の1名の退会が承認されました。（以下、敬称略）

2021年12月11日理事会 北澤 裕（早稲田大学教育・総合科学学術院）

8. 学会費納入のお願い

今年度の学会費をお振り込みくださいますようお願い申し上げます。別途、郵便にて「郵便振替払込書」をお送り申し上げます。

年会費：一般会員 5,000円 学生会員 3,000円

口座番号：00100-3-38020（郵便振替）

加入者名：早稲田社会学会

複数年度分の会費を納入される場合、および転居・異動などがあった場合には、別途メールにてその旨をお知らせください。なお、年会費の納入記録についてのお問い合わせなどがありましたら、事務局（socio-office@list.waseda.jp）までご連絡ください。

9. 事務局よりお願い

■事務局への連絡はできるだけメールでお願いいたします。

今般の状況下、事務局は通常通りの運営が困難となり、実務の多くをオンラインで行っております。学会事務局へのご連絡等は、できるだけ郵便でなくメールにてお願いいたします。郵便の場合、対応が大変遅れる可能性があります。いろいろとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■学会費の納入にご理解とご協力をお願いいたします。

近年、学会費納入率が低下しており、学会運営に支障をきたしております。一昨年と昨年は、コロナ禍で、年度当初に「郵便振替払込書」を郵送することができず、学会費の納入状況が大変低下しました。会員の皆様には、引き続き、早稲田社会学会活動にご理解いただき、会費を納入いただけますようお願いいたします。

以上